



『山』(日本山岳会) 目録

自三五一号〜至四〇〇号

論説・研究・随想

山の緑盛りなり	藤島 玄	三五二
会津の山①「高旗山」	市村 貞夫	三五二
噴火の鳥海山をたずねて	島中 善弥	三五二
山下コレクションについて	吉野 智雄	三五二
月山の薄雪草	坂倉登喜子	三五二
霞沢岳の東面	近藤 信行	三五三
深田久弥文学碑建立の経緯	山下 久男	三五三
大平晟翁と楽天園	久保田 全	三五三
シベリヤで見つけた三角点	吉沢 肇	三五三
素晴らしい年長者との出会い	周布 光兼	三五三
藤子木貞信氏のピッケル	野上 成男	三五四
白の叙情	伊藤秀五郎	三五四
会津の山②「飯森山」	市村 貞夫	三五五
ナンダゴット登山をふりかえって	鹿野 勝彦	三五六
浜野正男氏のお話から	望月 達夫	三五六
『山岳』編集者交代にあたって	藤島 敏男	三五六
休山記	松田 雄一	三五六
急性ウイルス性肝炎の予防にビタミンC	瓜生 卓造	三五七
撮取を	波辺 公平	三五七
おじんちゃん達の遠足	神崎 忠男	三五八
四十歳になった「山日記」	田辺 圭計	三五八
雪崩シンボジューム雑感	石間 信夫	三五八
微笑の思い出	伊藤秀五郎	三五八
不遇な山々：(一)	水野 公男	三五八
草木抒情		
一等三角点について		

四等三角点	今西 錦司	三五九
不遇な山々：(二)	石間 信夫	三五九
奥秩父の孫四郎峠	柿原 謙一	三五九
山名考(上)(下) 山本朋三郎・三九・三六〇		
ポラランドからの手紙―カンパチニ雑記―	酒井 吉国	三六一
旧上高地山荘のこと	日高信六郎	三六二
日英交歓登山の思い出	松田 雄一	三六二
ウエストンのお祭り	浜野 正男	三六二
UIAAのマークについて	関口 周二	三六二
板倉勝宣の墓碑銘	安川 茂雄	三六三
東海道線の車窓から見える南アルプス	石間 信夫	三六三
草木抒情・早春	伊藤秀五郎	三六三
山とOLと	大倉 寛	三六四
「山の歌」の訳詞者を訪れて	久保孝一郎	三六五
老いらく山日記	高橋 憲二	三六五
グリーンデルヴァルト・リート	井手 貞夫	三六五
船形山残感	伊藤 篤郎	三六五
日本山岳会創立七十年記念講演から	片山 全平	三六六
「旧上高地山荘のこと」を読んで	内ヶ島吉広	三六六
白い山で祝った八十歳の誕生日	松村 高	三六七
七十周年記念講演大阪会場 講演要旨	中島 道郎	三六七
高所順応について	伊藤秀五郎	三六八
山の先輩たち	小倉 厚	三六八
百名山随想	菅見 愛子	三六八
或るガイドの死		
剣岳遭難慰霊碑建立に際して	浜田 文二	三六八

説・霞沢岳の東面(上)	近藤 信行	三六九
『炉辺山話』とウエストンのレリーフ	大森 久雄	三六九
ヒマラヤのエーデルワイス	坂倉登喜子	三七〇
続・霞沢岳の東面(下)	近藤 信行	三七〇
清冽な詩人の魂	辻 莊一	三七一
創期会員高島北海展を観る	織内 信彦	三七一
鳳凰山地蔵仏第二登の記録	山崎 安治	三七一
ウエストンさんのレリーフ	浜野 正男	三七一
ノウゴイチゴかノウゴウイチゴか	松崎 中正	三七一
「剣の大濰行」余聞	湯口 康雄	三七二
辻村伊助さんのこと	麻生 武治	三七二
新聞の誤報について	山本 良三	三七二
ウエストンと浦口文治	小野 幸	三七三
木暮さんの書簡二通	望月 達夫	三七三
本邦初のガイド組合	渡辺 公平	三七四
辻村さんの書簡	望月 達夫	三七四
会員章覚え書	望月 達夫	三七五
明治初期の日本における外国人の登山活動について	水野 勉	三七六
	(一)三七六 (二)三七七	
	(三)三七八 (四)三七九	
	(五)三八〇 (六)三八一	
ヘンダーソン夫人とベニグリッドホテル	村山 雅美	三七七
高頭仁兵衛と深沢村	久保田 全	三七八
『山日記』日本三百名山(案)について	皆川 完一	三八二
地図の整理法	今西 錦司	三八四
日本山岳会総会に思う	佐藤 テル	三八五
美しい山とは何か	岡沢 祐吉	三八七
過ぎ日山と人たち	佐々 保雄	三八七
バルトロ街道を往く	吉沢 一郎	三八八
積雪期における穂高岳奥又白谷四峰側壁の初登攀―永井憲治氏の手記より―山崎安治三八九		
合同登山の可能性をさぐる―中国登山界と初		
の接触―	岩堀榮三郎	三九〇
文庫に入っている山の本	西郷 晴祐	三九二
52年度晩餐会この一本展特別出品 播隆上人		

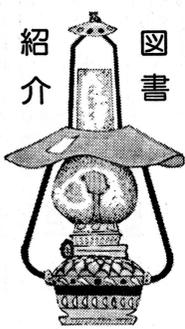
筆「鎗ヶ岳絵図」について	近藤 信行	三九三
スキー登山史の断片	久保田 全	三九三
六十四年目の名のりあい	辻 莊一	三九四
二十五年前の「本」―エヴェレスト登頂二十	田中 栄蔵	三九四
五周年に寄せて―	石間 信夫	三九四
寸又川流域の山々	池田智津子	三九五
豆とマウント・クック―ニュージーランドの		
山と人―		
屏風岩正面岩壁の登攀について(上)(下)	石岡繁雄	三九五・三九六
マッターホルン北壁(一九七八年三月)	鳴 満則	三九六
―ある夫婦の記録―	大木 操	三九八
上高地清水屋の思い出―ウエストン氏に叱ら		
れた話―		
丹沢遺逸―山と人への思慕―	周布 光兼	三九九
「山」四〇〇号を迎えて	山崎 安治	四〇〇
海外通信		
カラカスより	吉沢 一郎	三五二
モスクワにて	田村 俊介	三五二
カトマンズより	高橋 照	三五三
同二信	高橋 照	三五三
カナディアン・ロッキーを訪ねて	三上 正治	三五七
エベレスト日本女子登山隊より	久野 英子	三五八
(佐藤テル宛)	田村 森	三五八
ブエノスアイレスより(佐藤テル宛)	小倉 大賀	三五八
エベレスト日本女子登山隊より	久野 英子	三五九
(村井米子宛)	小倉 董子	三五九
ブエノス・アイレスにて	上条 輝夫	三六二
ウエストンの墓をたずねて		
ボンゴス南峰(織内信彦宛)	早坂敬一郎	三六二
カスピヒ	田口 二郎	三六三
テラムンカンリー峰初登頂(山崎安治宛)	小高 和夫	三六四

ヒマラヤ遠征の本質を求めて(望月達夫宛)	原 真 三六五
マッキンレイの麓から	佐々 保雄 三六六
後半の旅・アラスカへ(小原勝郎宛)	植村 直己 三六六
ポニントン氏から礼状(大塚博美宛)	三六七
ソ連でスキーを(織内信彦宛)	原 蕃 三六八
七星山雨情	門倉 賢 三七一
アメリカの小島鳥水(島田巽宛)	近藤 信行 三七五
ゴットフリートとの再会	麻生 武治 三七六
小島鳥水氏の足跡を尋ねて(島田巽宛)	近藤 信行 三七七
アフガニスタンから	泉 久恵 三七九
ヨーロッパの旅から	島田 巽 三八〇
ネパールの旅から:そのI	山の人 町の人 近藤 信行 三八一
ネパールの旅から:そのII	歴史の街道 大橋晋・大森久雄 三八一
ダーズリン便り	高橋 照 三八三
菩提樹の花の咲く頃	菅見 愛子 三八八
スイスのエーデルワイスを訪ねるアルパイン	・ツァーニス イス山岳会との交歓会報告一 坂倉登喜子 三八九
雪山登らざる記―台湾紀行―	山口 政一 三九九
アルプスの星・エーデルワイスを訪ねて	坂倉登喜子 四〇〇
アルプスの旅から	菅見 愛子 四〇〇

国内通信

荒島岳	山下 久男 三五四
トムラウシ山	小倉 厚 三五四
四国の林道	舟橋 明男 三五四
木暮理太郎没後三十年慰霊ミサに参列して	神原 忠夫 三五五
六月の火打山	松家 晋 三五五
華練登山団の来日に寄せて	沼倉寛二郎 三五五
鉢ヶ岳と黒姫山	小野 健 三五七
今西会長『七五〇山登山』記念山行	伊藤 茂 三五七
墓参と荒島岳	望月 達夫 三五七
遠島山唄ノ神岳・栗師岳	名須川 浩 三五七
嘉門次小屋の秋	柿原 謙一 三五七
上河内岳と空沼岳	秋山と冬山 井手 貞夫 三五七
トムラウシ山	川村 博通 三五七
「白いアルパム」	片野 次雄 三五七
未だヶ岳	川崎 精雄 三五八
五郎ヶ岳	川崎 精雄 三五八
九上山山房国立国会図書館にて購入	野上 成男 三五九
四十二年目の八ヶ岳柳川	周布 光兼 三六〇
越後国・光鬼山登山	高木 泰夫 三六一
今西錦司さんの「パンザイ」	近藤 信行 三六一
飯盛山	川崎 精雄 三六四
五月の南会津の山々	山田 哲郎 三六四
初冬の沢ヶ岳所の沢越え	松家 晋 三六五
会員通信	坂倉登喜子 三六五
駒の湯行	渡辺 公平 三六六
浄法寺山	山下 久男 三六六
名古屋地方の登山家の集い	尾上 昇 三六六
葉山の訪れ	藤島 玄 三六七
尋ね人	吉武 正子 三六七
雪深い飛竜山	沼倉寛二郎 三六八
カリガンダキ回想	川崎 精雄 三六八
荒島岳	川北 仁 三六八
野猿と遊ぶ小屋じまい	飯田 一進 三六九
豪雨に孤立した山研の一夜	三井 茂子 三六九
集中豪雨の八甲田櫛ヶ峰	名須川 浩 三六九

一等三角点 パンザイ山行	高旗山 市村 貞夫 三六九
権兵衛峠越え	柿原 謙一 三七一
第30回ウエストン祭に参加して	山下 久男 三七三
六十三年ぶりの上高地の夜	大木 操 三七四
飯盛山	野口 末延 三七七
日高峴尻岳	小倉 厚 三七七
祝瓶山	高橋 憲二 三七八
千五百回山行	風越山・鬼面山・奥ヶ城山 石間 信夫 三七九
蓼科山に雪艇で初めて登りしこと	田中 武弘 三八一
大雪山旭岳グレンデ	井手 貞夫 三八一
茅ヶ岳行	山下 久男 三八四
五月の屋久島宮之浦岳	野口秋人 木本善重 三八五
谷川連峰越後側登山道の現況	土樽山の家 高波 隆男 三八六
武田さんのお墓	望月 達夫 三八七
一・三合のパンザイ山行	近藤 有慶 三八七
山菜を食べる山行	田村 俊介 三八七
祖母山に登る	小塩 丘平 三八八
金峰山	高田 真哉 三八八
栗山郷の明神岳	川崎 精雄 三八九
愉しかりしベテガリ岳登山	井手 貞夫 三八九
早池峰山	坂倉登喜子 三八九
和賀岳	加藤 隆 三八九
阿蘇と祖母山	望月 達夫 三九三
会員通信	菊地 正蔵 三九六
四十四年ぶりのベテガリ岳	相川 修 三九八
遙かなるベテガリ岳	望月 達夫 三九八



図書 紹介

山のごころ(福田宏年著)	山崎 安治 三五二
深山久弥 山の文学全集一全十二巻	高遠 宏 三五二
榎乃実(田崎英之編)	山崎 安治 三五三
追憶集「松方三郎」(編集代表・松本重治)	島田 巽 三五四
かんあおい(山下一夫著)	今井 雄二 三五五
小さな頂(一原有徳著)	望月 達夫 三五六
カラコルム(吉沢一郎古稀記念文集)	松田 雄一 三五六
新版 アルプス記(松方三郎著)	望月 達夫 三五八
一等三角点(水野公男著)	望月 達夫 三五九
屏風岩登攀記(石岡繁雄著)	堀内 章夫 三六〇
霧の谷(増永勉男著)	望月 達夫 三六二
南山の道(小滝清次郎著)	河野 精雄 三六二
三井松男―遺稿と追憶	河野 幾雄 三六四
写真で見る岩登り入門(村井葵著)	松永 敏郎 三六四
さぶ百山(岐阜県山岳連盟)	横山 厚夫 三六五
山で会った人(松方三郎著)	藤島 敏男 三六六
高所登山研究(日本山岳会編)	中島 寛 三六六
ヒマラヤ人と辺境(白水社下・M)	三六七
女ばかり南米大陸をゆく(森・田村・小倉・大賀協著)	山崎 安治 三六七
山の本販売目録・一九七五(茗溪堂編)	山崎 安治 三六七
山は満員(渡辺公平著)	島田 巽 三六八
朝日連峰 吾妻連峰 飯豊連峰 鳥海山・飛鳥 出羽三山・葉山(山形県総合学術調査会)	朝井 一男 三六八
星空の北壁(近藤著)	山崎 安治 三六八
炉辺山話(岡茂雄著)	小野 幸 三六九
ヤルン・カン(AACK) 山本 良三 三七一	山・人・本(島田巽著) 高遠 宏 三七三

THE HILL MAGARS AND THEIR

NEIGBOURS (川喜田二郎著) 織内 信彦 三七四
 続ブータン感傷旅行(小方全弘著) 横山 厚夫 三七四
 東ネパール登山と調査報告書(沼田真編) 松田 雄一 三七四
 ヒラリーの自叙伝 島田 巽 三七四
 わが北壁の記―星野隆男追悼集― 山崎 安治 三七七
 山・人・本(特装本)(島田巽著) 望月 達夫 三七七
 霧の谷II(増水勉男著) 望月 達夫 三七七
 低山高嶽(神谷恭・遺稿と追悼) 牧野衛三七八
 ヒマラヤ・トレッキング(五百沢智也著) 松田 雄一 三七八
 ネパール・パキスタン・ヒマラヤ・トレッキ
 ング(ブルイガイド海外版) 松田 雄一 三七八
 山愛の記(村井米子著) 山崎 安治 三七九
 エーデルワイスの詩(坂倉登喜子著) 川崎 精雄 三七九
 パミールシルクロードの城塞―(田村俊介
 編著) 水野 勉 三七九
 越後の山旅 上巻(藤島玄著) 皆川 完一 三八〇
 あのころの山(一原有徳著) 望月 達夫 三八〇
 女性登山教室(小倉童子著) 横山 厚夫 三八三
 わたしの草と木の絵本(坂本直行著) 島田 巽 三八三
 ヒマラヤをめざした越中の入たち(橋本広著) 山崎 安治 三八三
 日本風景論(上・下)(志賀重昂著) 水野 勉 三八三
 雪崩文献目録 第一集 金坂 一郎 三八三
 山の天辺(赤沼千尋著) 山崎 安治 三八四
 『北の山統編』を読んで 山田 健児 三八五
 山を見る日(川崎精雄著) 望月 達夫 三八五
 吾妻小屋日記(二階堂匡一郎編) 川崎 精雄 三八七
 館嘉穂守真集(館嘉穂著) 柿原 謙一 三八八
 K12峰遠征記(岩坪五郎編)

スイス・アルプス風土記(宮下啓三著) 山本 良三 三八八
 ヒマラヤ(川喜田二郎編) 大森 久雄 三八九
 思い出の山々(千々岩助太郎著) 山崎 安治 三八九
 旅の山菜(片岡博著) 望月 達夫 三八九
 飛翔(関田美智子著) 島田 巽 三九〇
 登山の技術(上・下巻)(日本山岳会編) 山崎 安治 三九〇
 ナンダ・デヴィ縦走(日本山岳会・デ
 ヴィ縦走隊) 山崎 安治 三九一
 快晴の山(織内信彦著) 竹中 昇 三九一
 わが北千島記(別所二郎著) 成瀬 岩雄 三九二
 K2登頂 幸運と友情の山(広島三朗著) 初見 一雄 三九二
 世界山岳地図集成・ヒマラヤ編(学習研究社
 刊) 湯浅 道男 三九三
 イタリアへの郷愁(牧野文子著・牧野四子吉
 絵) 望月 達夫 三九四
 小島鳥水(近藤信行著) 越田 和男 三九四
 中央アジアの高峯―パミール速攻、日本山岳
 会隊の記録―(原真・田村俊介編) 島田 巽 三九五
 登山ハンドブック(千葉重美著) 池田 常道 三九六
 静かなる山(川崎精雄・望月達夫・山田哲郎
 ・中西章・横山厚夫共著) 織内 信彦 三九八
 ヒマラヤ取材記(片山全平著) 島田 巽 四〇〇
 ヨーロッパアルプス(白旗史朗写真集) 近藤 等 四〇〇

海外訳本

雪崩(アメリカカ林野局著) 橋本誠二・清水弘
 共訳 金坂 一郎 三五四
 スイス・ベルナーアルプスの岩場(スイス山
 岳会(ベルン支部編)岡沢祐・赤沼八隅共訳 山崎 安治 三五九
 わが青春の登攀(ボニントン著 青柳健訳)

海外雑誌・山岳団体情報紹介

近藤 信行 三六三
 ヒマラヤ(第二版)(ケニス・メイソン著
 田辺主計・望月達夫共訳)島田 巽 三六三
 星にのぼされたザイル(ガストン・レビエフ
 ア著 近藤等訳) 山崎 安治 三六八
 ヒマラヤ(J・デニユイ著 水野勉訳) 望月 達夫 三八〇
 地の果ての山々ヘクリス・ボニントン著 山
 崎安治訳) 山本 良三 三八四
 グリンデルワルトの山案内(ブラーウワ
 著・井手貢夫訳) 宮下 啓三 三八五
 マナスルの嵐(メスナー著・岡沢祐吉訳) 山崎 安治 三九七

わらぢ(第四号) 覆刻版(松本高校山岳部著)
 山崎 安治 三五二
 55 WAYS TO THE WILDERNESS 松崎 中五 三五五
 Samuel Brawand GRINDELWALD 麻生 武治 三五三
 BERGFÜHRER 慶応義塾体育会山岳部
 「登高行」第十七号 山崎 安治 三五五
 Mario Bertone ASPECTOS GLACIO-
 OGICOS DE LA ZONA DEL HIELO
 CONTINENTAL PATAGONICO 高遠 宏 三五九
 奥美濃(山葵会編) 望月 達夫 三六〇
 アメリカン・アルパイン・ジャーナル七三
 七四年版 松永 敏雄 三六三
 蔵王(東北大学山の会編) 望月 達夫 三六九
 東海山岳第三号(日本山岳会東海支部) 松田 雄一 三六九
 Alpenvereins Jahrbuch 1974. Hrsg. vom
 Österreichischen und vom Deutschen
 Alpenverein. Innsbruck, München 1974.
 P-29 (一九六一~一九七〇)(大阪大学山
 岳部) 松田 雄一 三七〇
 会津の峠 上下(会津史学会編) 望月 達夫 三七一

会務報告

榎ヶ岳遭難報告(京都大学山岳部) 山崎 安治 三七一
 A Photographic of the Mount Jomo
 Lungama Scientific Expedition (1966-
 1968) 山崎 安治 三七五
 東海山岳第四号(東海支部) 稲田 定重 三八一
 1975 TUATAC DHALAGIRI-II (東京
 農工大学ヒマラヤ登山隊) 松田 雄一 三八一
 改訂増補 本草関係図書目録(国立国会図書
 館支部上野図書館蔵) 山崎 安治 三八一
 アルプス事典(ヒール編) 宮下 啓三 三九〇
 日本山岳会学生部年報六号 鹿野 勝彦 三九五
 紫岳(静岡高校山岳部・静岡大学山岳部編) 山崎 安治 三九五
 農大報告第三号(東京農大山岳部) 山崎 安治 三九六
 AFTER EVEREST (An Autobiography
 by TENZING NORGAY SHERPA as
 told to MALCOM BARNES) 柿原 謙一 三九九

会議・委員会
 会員総会
 昭和五十年度日本山岳会通常会員総会開催
 片山 全平 三六〇
 昭和四十九年度事業報告・決算関係表 三六〇
 昭和五十年度事業計画・予算関係表 三六〇
 日本山岳会昭和五十一年度総会無事終了
 大森 久雄 三七二
 昭和五十年度事業報告・決算関係表 三七二
 昭和五十一年度事業計画・予算関係表 三七二
 昭和五十一年度日本山岳会総会
 片山 全平 三八三
 日本山岳会昭和五十一年度 事業報告 三八四

昭和五十二年度事業計画(案)	三八四
昭和五十一年度収支決算書	三八四
昭和五十二年年度収支決算書(案)	三八四
定款一部変更承認 日本山岳会臨時総会開催される	三九三
昭和五十三年度日本山岳会総会開催 事業計画、予算案など承認 新監事に片岡博氏	三九六
日本山岳会昭和五十二年年度事業報告	三九六
昭和五十二年年度収支決算書	三九六
昭和五十三年度事業計画(案)	三九六
昭和五十三年年度予算(案)	三九六
年次晩餐会	
昭和四十九年度年次晩餐会	小倉 厚 三五五
昭和五十年年次晩餐会	片山 金幸 三六七
四つの海外登山に成果(昭和五十一年度年次晩餐会)	片山 金幸 三九九
新名誉会員に今西錦司、吉沢一郎西氏一昭和五十二年度年次晩餐会	片山 金幸 三九一
理事会・評議員会	三五二、三五三、三五五、三五七、三六二、三六四、三七四、三七六、三七八、三八一、三八三、三八七、三八九、三九一、三九八、四〇〇
図書委員関係	伊藤 博夫 三五二
図書委員会懇親会	伊藤 博夫 三五二
この一本展のお願い	伊藤 博夫 三五二
和書目録完成のお知らせ	伊藤 博夫 三五二
第六回山岳図書展を語る夕べ	油谷 次康 三五四
第七回山岳図書交換会報告	越田 和男 三五四
(第七回) 山岳図書交換会主要出品目録	三五五
第十三回Aこの一本展①	三五六
第十三回山岳史懇談会(お知らせ)	三五七
第十三回Aこの一本展②	三五七
第十三回Aこの一本展③	三五八
第十三回Aこの一本展④	三五九
第三回山岳史懇談会(松高山岳部とその奥又白周辺記録)	越田 和男 三六一

第八回図書交換会(お知らせ)	三六一
神谷記念図書目録(Ⅰ)(Ⅱ)	三六一、三六二
五十年年度図書委員会行事予定	三六二
第四回山岳史懇談会(お知らせ)	三六八
第七回山岳図書展を語る夕べ(お知らせ)	三六八
第八回山岳図書交換会	三七一
第四回山岳史懇談会 旧制甲南高校山岳部を語る	三七二
第七回山岳図書展を語る夕べ	飯田 進 三七二
「この一本展」のお願い	山本 良三 三七二
JAC絵画展の提案	三七三
図書委員会行事予定	三七三
「この一本展」のお願い	三七四
第九回図書交換会お知らせ	三七五
山の文庫展示会案内	三七五
重ねて「この一本展」のお願い	三七六
第一回山岳画展(案内)	三七六
注目された「この一本展」	三七九
辻村伊助氏の遺稿について	三七九
日本山岳会会員による山岳絵画展案内	近藤 信行 三七九
山岳絵画展(とうぞ)	三八〇
「この一本展」から	三八〇
山岳図書展を語る夕べ(案内)	三八〇
山岳史懇談会(案内)	三八〇
「この一本展」から	三八一
蔵書の金脈を掘りあてて盛会―第九回山岳図書交換会―	伊藤 博夫 三八一
薄曇りのち晴れ(山岳絵画展を終えて)	三八二
「この一本展」から	三八二
洋書目録完成のお知らせ	河野 悠二 三八二
学習院山岳部の足跡―第五回山岳史懇談会―(座談会)	三八五
第十回図書交換会(お知らせ)	三八六、三八七
「この一本展」のお願い	三八八
第十回山岳図書交換会	清 三九〇
新ルーム移転、図書室閉鎖通知	三九〇
第六回山岳史懇談会のお知らせ	三九〇、三九一
図書委員会秋の懇親山行	飯田 進 三九二
山岳図書展を語る夕べのお知らせ	三九三
各務良幸氏にきく―一九二〇年代のアルプス―	第六回山岳史懇談会から―

山岳図書展を語る夕べ横川文雄氏を囲んで―	松家 晋 三九七
第11回図書交換会(お知らせ)	岡沢 祐吉 三九八
昭和52年年度年次晩餐会「この一本展より」	三九八、三九九
「この一本展」のお願い	(上) 三九九
集会・青年・婦人懇親関係	(下) 四〇〇
第三二四回小集会のお知らせ	四〇〇
穂高岳酒沢合宿報告	三五一
忘年会のお知らせ	(桐生) 三五三
カラコルム研究会	三五四
インド・ヒマラヤ研究会	桐生 恒治 三五四
第三一八、三一九回小集会のお知らせ	伊丹 紹泰 三五四
放談会(会員会議)報告	三五五
丹沢集中登山印象記①②河野幾雄	三五五
四十九年度忘年会	三五五、三五六
集委員会から(五十年年度活動計画)	(梅野) 三五八
婦人懇談会から(ガルワルヒマラヤ研究会)	三五八
第三二一回現地小集会(上高地山研)印象記	須田 紀子 三六〇
穂高岳酒沢集會報告	河野 幾雄 三六三
忘年会のお知らせ	桐生 恒治 三六五
小集会報告(第三二二、三二七回)	三六五
ルームで忘年会	三六七
第三二八回小集会会員懇談会報告	三六八
第三二〇回小集会もちつき大会	三七〇
集委員会行事予定	三七〇
第三四五回現地小集会のお知らせ	三七三
現地小集会 白山登山	津田 文夫 三七六
錦秋の谷川岳	入沢 郁夫 三七七
山のスケッチ教室 (勝田)	三七七
忘年会案内	三七七
映画会 探検の先駆者たち	片山 金平 三七九
野沢温泉スキー親睦会(案内)	三八〇
第三三七、三三九、三四一回スケッチ教室	三八〇
第三四三回各国山岳会情報	三八〇

第三四五回会員懇談会	三八〇
第三四六回バルトロ・カンジ登頂報告	三八〇
山菜勉強会・山菜山行(お知らせ)	三八二、三八三
映画と講演の夕 探検の先駆者たち(お知らせ)	三八三、三八四
山菜勉強会報告	阪本 伸一 三八五
ビール・パーティー(お知らせ)	三八五
温泉に入って太郎に登ってつりをする会(お知らせ)	三八五
第三五五回ルーム小集会 JAC学生部	三八五
ウナギリ北稜 集会・学生共催	三八六
新入会員オリエンテーション	三八六
第一回JACノミの市 出品をお待ちします(お知らせ)	三八六、三八七
写真勉強会(お知らせ)	三八六
第三五九回ルーム小集会 越後の山を語る会(お知らせ)	三八六
山菜山行 越後浅草岳(第三五七回現地小集会)	三八七
盛況の「探検の先駆者たち」映画会	片山 金平 三八八
第三五九回小集会「越後の山を語る会」	三八八
JAC「ノミの市」	三八八
現地小集会(お知らせ)	三八八
婦人懇談会月例山行 駒ヶ岳・神山・早雲山	三八九
忘年会(お知らせ)	佐藤 テル 三八九
スキー懇親会(お知らせ)	集会・婦人懇 三八九
丹沢でイノシシを食べる会(お知らせ)	三九〇
第三六〇回小集会写真教室	三九〇
「蚤の市」懇談会	池田智津子 三九〇
集会「写真講習会」参加記	
K2登頂報告会のお知らせ	松丸 秀夫 三九一
第二回JACノミの市のお知らせ	三九一
秋山二十六夜山 現地小集会	三九四
八方尾根スキー懇談会	大森 久雄 三九四
山菜の夕べ(お知らせ)	山口 一孝 三九四
会津駒ヶ岳山菜山行(お知らせ)	三九四
第三七一回ルーム小集会 会津の山を語る会(お知らせ)	三九五

- 第三六九回ルーム小集会 マカール西稜映画会報告 三九五
- 第三六八回ルーム小集会報告 三九五
- ドイツ山岳会との合同登山のお知らせ 三九五
- オリエンテーション・雑感 海部 光則 三九五
- ビール・パーティのお知らせ 三九六・三九七
- 会津駒が岳山菜山行によせて 高沢 英夫 三九七
- 第三七三回小集会 山の歌教室お知らせ 三九七
- JACノミの市 出品をお待ちします 三九七
- 山の歌教室(お知らせ) 三九八
- ドイツ山岳会(DAV)青年部来日 三九八
- 人生を三倍に生きる 西堀会長を囲んで一婦人懇談会 (I) 近藤 緑 三九八
- (II) 斎藤かつら 三九八
- 忘年会は12月14日(お知らせ) 四〇〇
- 指導・学生関係
 - 第十四回登山技術講習会 (堀内) 三五二
 - 第十四回登山技術講習会を受講して 国光 保雄 三五二
 - 第十五回登山技術講習会のお知らせ 三五六
 - 雪崩シンポジウム報告 神崎 忠雄 三五八
 - 第十五回登山技術講習会を終って 堀内 章雄 三六三
 - 雪崩勉強会へのお誘い 三六三
 - 第十八回登山技術講習会案内 三六六
 - マラン大会のお知らせ 三七七
 - 第十六、十七回登山技術講習会 三七九
 - 宝剣岳で雪崩勉強会 三七八
 - 雪崩研究会(お知らせ) 三八四
 - 雪崩研究会(一九七六年度) 三八六
 - 第20回登山技術講習会(案内) 三八六
 - 第21回山スキー技術講習会(案内) 三八六
 - 第21回山スキー技術講習生募集について 三九〇
 - 学生部年報第六号 三九〇
 - 第二十一回登山技術講習会と第二十回の中止のご連絡 三九一
 - 第二十二回登山技術講習会のお知らせ 三九二

- キー世界選手権大会ならびに国際青年集会上について 三六四
- トレント映画祭受賞作品の紹介 三六六
- 開放されたパミールおよびコーカサス 三六七
- 「インフオメーション・レター」(ソ連山岳連盟) 三六七
- イタリア国際映画祭のお知らせ 三六七
- アルパイン・スキー世界選手権大会の結果について 三七一
- 国際アルピニスト集参加要請の件 三七三
- イタリアでの登山・探検映画国際コンクールについて 三八〇
- ネパールの未解禁ピークの登山について 三八六
- 『アルピニズム』誌で原稿募集 三八六
- パンフ山岳映画祭(お知らせ) 三八六
- 王室オランダ山岳協会住所変更 三八九
- 高所登山委員会
 - 第五回 外国登山家へのアンケートの分析 浅見 正夫 三五二
 - 第六回 谷川岳に集う 原真 三村和男 三五二
 - 第七回 酸素と酸素呼吸器の将来 宮下 秀樹 三五五
 - 第八回、第九回 「高所登山研究」の出版 伊藤 行人 三五九
 - 最近のヒマラヤ事情の検討 原 真 三六二
 - 第一〇回 七〇〇メートル峰登山を検討する 一九七六年夏期ソ連邦パミールのコムニズム 峰およびコルジュネフスカヤ峰遠征隊員募集について 三六六
 - ヒマラヤを語る会案内 三六六
 - ガルワール・ヒマラヤ登山隊員募集 三八四
 - 高所登山研究会(案内) 四〇〇
 - ルーム日誌 三五二、三五三、三三八、三九一、三九二、三九四、三九八、四〇〇
- 会員異動 三五三、三五五、三五七、三三八、三九一、三九二、三九四、三九八、四〇〇

- 会員名簿訂正 三五七、三六三、三六五、三六七、三七〇、三七二、三七四、三七七、三七八
- 図書室便り
 - 図書受入報告 三五二、三五六、三六一、三六三、三六八、三六九、三八八、三九〇、三九四、三九六、三九七、四〇〇
 - 復活・新入会員(表) 三五二、三五三、三七五、三七七、三九五、三九七、四〇〇
- 住所・住居表示変更(表) 三五二、三五三、三八九、三九一、三九四、三九六、四〇〇
- その他事務局関係
 - 深田久弥氏の「のれん」 三五二、三五三、三五四
 - UIAA総会に出席して② 鈴木 郭之 三五二
 - 『山岳』第六十八年について 三五二
 - 『山岳』覆刻シリーズ 三五二、三五四
 - UIAA一九七四年総会 神原 達 三五二
 - 第6回日本ヒンズークシユ会議開催 三五二
 - 会告 秩父宮雅仁親王文集「思い出の記」について 理事會 三五三
 - 一九七四年のUIAA総会に出席して 牧野 文子 三五四
 - 梓会年次だより 茶谷 東海 三五五
 - 会告(ルームの開室時間) 理事會 三五六
 - 日本山岳会の刊行物 三五七
 - 係から 三五〇
 - ヒラリー基金への応募を 三六二
 - 会費納入について 三六二、三六六、三七三、三七五
 - 創立七十周年記念講演と映画の会(お知らせ) 三六三
 - 日本山岳画協会について 藤江幾太郎 三六三
 - 創立七十周年記念出版『覆刻日本の山岳名著』 三六三
 - 『覆刻日本の山岳名著』販売方法等のご案内 近藤 信行 三六四
 - 『覆刻日本の山岳名著』について 三六四
 - 武田久吉博士御遺族からの寄贈について 三六四
 - 携帯用灰皿について (G・I) 三六四

- 第七回ヒンズークシユカラコルム会議を開催 三六四
- 昭和五十年年度年次晩餐会(通知) 三六四
- UIAA総会に出席して 佐藤 テル 三六五
- 『山岳』第七十年記念号原稿募集について 三六六
- 梓会年次だより 茶谷 東海 三六八
- 原稿募集 『山』編集委員会 三六八
- 武田久吉氏愛用品本会に寄贈 『世界山岳地図展』お知らせ 三七〇
- 本誌『山』への投稿をお待ちします 三七二
- 昭和五十年年度年次晩餐会案内 三七五
- 『山岳』第七十年号目次・刊行遅延のお知らせ 三七六
- 『山岳』編集委員会 近藤 信行 三七七
- 51年度新入会員オリエンテーションのお知らせ 三七九
- 田部重治を憶う会―梓会昭和五十一年年次報告― 茶谷 東海 三八〇
- わたしたちのルームをわたしたちの手で!! ルーム基金募集のお願い 西堀栄三郎 三八五
- ルーム基金応募ご芳名 三八六、三九八、四〇〇
- 『山岳』第七十一・七十二年合併号発行について 山岳編集委員会 三八八
- 年次晩餐会(お知らせ) 三八八
- ネパール・チャリテイーカレンダー 三八九
- 年次晩餐会をお忘れなく 三八九
- 新しい年は新しいルームから―山岳会本部一月二十九日に移転― 三九一
- ネパールの友好促進 盛況のアリヤール外相招待レセプション 織内 信彦 三九二
- 山岳会本部の移転完了 新ルーム披露パーティー 3月11日(土) 三九二
- 雑誌『ケルン』復刻版について 三九二
- 新ルーム披露パーティー3月11日に変更 三九二
- 第三十九回国際山岳連盟年次総会に出席して 吉沢 一郎 三九三
- 映画寄贈二本 『山岳』七十二年・原稿募集―登山記録・紀行をお寄せ下さい―山岳編集委員会 三九三
- 新ルーム披露パーティー3月11日― 三九四
- 日本山岳会 図書室利用規定 三九四

53年度総会 5月12日(お知らせ) 三九四
IIフィルム・ライブラリーからII歴史的な記
録映画二本(寄贈)「エベレスト一九二四年」
国分勲兵衛「ナンダ・コット」 竹節 作太 三九五
日本山岳会事務取扱時間、図書室開設時間
(お知らせ) 三九六
事務室休室のお知らせ 三九七
地方居住会員へのお願い 理事会 三九七
ネパール国王を迎えて 折井 健一 三九七
日本山岳会事務取扱時間・図書室開設時間
三九八、三九九、四〇〇

図書室募金報告 四〇〇
年次晩餐会12月2日(お知らせ) 四〇〇
会員名簿配布 四〇〇
第10回ヒンズークシニ・カラコルム会議の開
催 四〇〇
ルームに歴代会長の写真
アイゼンよ、出てこい! 四〇〇
編集から (大森) 四〇〇

○自然保護

「連峰スカイライン」反対 三五五
自然保護憲章 三五五
環境庁と自然保護委員会の会合 三六一
もう気にはいられない 三六一

自然保護情報(秩父・兵庫) 渡辺 公平 三六一
自然保護委員会昭和五十一年度活動計画 三七二
自然保護委員設置の依頼 山本 良三 三七二
アラスカの山からゴミの回収を要求 山本 良三 三七三
秋田しおみ 三七四
上高地での自然保護委員会 武田 満子 三七五

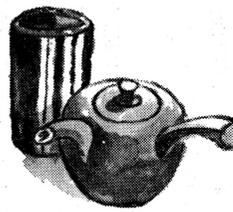
日本山岳会「穂高宣言」 三七六
岳沢グリーン・エリア計画 三七六
冬山登山のゴミが山を汚す―自然保護委員会第
二回上高地集會に出席して―三上博民 三七八
御在所岳北谷の水質調査(山) 尾上 昇 三八〇
山をきれいに 大学山岳部に協力要請 三八〇

御在所岳北谷の水質調査(2) 尾上 昇 三八一
これでいいのか? 矛盾した自然保護行政―
奈良県大台ヶ原の場合― 田村 聡明 三八二
ゴミ持ち帰り運動の提言 藤田 英治 三八三
ブナの原生林を守る―和賀岳(一、四四〇メ
ートル)の場合― 高橋 亭夫 三八五
大峰・大台からのアビール―自然保護委の視
察行― 渡辺 公平 三八六
プロの手から盗伐・盗掘を防ごう 葛藤 一雄 三八六
春スキーとゴミ 武藤 清次 三八七
第三回上高地集會の概要 小倉 厚 三八八
早池峰の小田越林道を廃止しよう 岩手支部 湯浅 俊行 三八八
どこまで壊せば気がすむのか―自然破壊の現状
―南アルプス北部の場合― 山村 正光 三八九
原生林の北沢峠は守れるか―追いつめられた
南アルプス 市川 一雄 三九〇
自然保護委員会東京集會 織内 信彦 三九〇
自然保護委員会丹沢集會に参加して 岩手支部 高橋 亭夫 三九〇
山は山でもゴミの山―山のゴミ公害について― 坂倉登喜子 三九一
自然保護委員会情報・白川又川林道工事につ
いて 三九三
北海道の山の自然とその保護 辻井 達一 三九五
自然保護情報 山道 辻司 駒男 三九六
立山の開発と自然保護 若林啓之助 三九七
自然保護上高地集會・お知らせ三九七、三九八
一九七八年日米民間環境会議・お知らせ三九七
奈良県知事宛「大峰・白川又川流域の林道中
止並びにその自然保護について重ねて要望」
及び西堀会長宛の同回答 三九九
「日米民間環境会議78」について 鈴木 郭之 四〇〇

○上高地山岳研究所

上高地山岳研究所募金状況(七月末現在)三五三
上高地山岳研究所募金状況(四十九年八月) 三五五

上高地山岳研究所利用状況 三五六
募金納入お願い 三五七
上高地山岳研究所使用規定 山研運営委員会 三六二
山研(上高地)五月末開所予定 小倉 三七〇
山研(上高地)オープン 小倉 三七三
上高地山研の利用を (折井) 三七五
上高地「山研」のことも 三七六
上高地山研五十一年度報告 三七九
上高地山研開所と利用料値上げのお知らせ (小倉) 三八三
上高地山研夏山シーズン利用は早目に (山研運営委員会 小倉) 三八五
上高地山研だより(山研運営委員会 小倉) 三八八
上高地山研だより 小倉 三九〇
寄付 林郁彦氏と原田幹市氏 小倉 三九〇
上高地山研だより ゴールデン・ウィークに オープン! 小倉 三九四
上高地山研の開所 折井 三九六



中国名産

催し物

英国女流登山家の先駆者J・ダンシース女史
を囲んで 小倉 董子 三五三
第三回八方尾根スキー親睦会に参加して 渡辺 正臣 三六〇
神谷恭氏を偲ぶ会 名児耶達男 三六〇
エベレスト登頂の祝賀会 片山 金平 三六一
三水会について 中 保 三六二

第十八回有志閑談会 小原 晴子 三六二
阿寺沢山峡三水会現地集會報告 坂倉登喜子 三六三
武蔵野の夕べにヨリデルを聞く会報告 坂倉登喜子 三六五
アルパータ登頂五十周年記念会報告 片山 金平 三六五
三水会・湯船温泉現地集會報告 中川 恵資 三六六
小林義正さんを偲ぶ会 水野 勉 三七〇
昭和五十一年度JAC主催 現地集會 白山 三七〇
登山案内 三七一
出版記念会二つ 草津スキー行 西丸 震哉 三七三
山形博物館で第一回山下一夫船葉展開催 坂倉登喜子 三七三
三水会第六回箱根集會報告 高田 真哉 三七三
三水会六月集會 今井喜美子 三七四
山の文庫展示会(案内) 織内 信彦 三七七
ネパール国王テベット訪問の映画を観る会 坂倉登喜子 三七七
武蔵野の夕べにヨリデルを聞く集い 小野 幸 三七八
茨木猪之吉画伯をしのぶ会 秋の味覚と秘められた温泉を語る座談会 水会報告 坂倉登喜子 三七八
スイス・アルプス名画展お知らせ 三八一
「深田久弥氏終焉の地」記念柱についで 山村 正光 三八三
三水会、竹寺現地集會報告 高田 真哉 三八三
第9回藤江幾太郎新作展(お知らせ) 石田 三八四
三月の三水会(報告) 石田 三八四
総会後の各支部有志との親睦登山 ナダレ体験をさく会(お知らせ) 若林隆三 三八七
(遭難対策委員会) 沼倉 三八八
三水会 (中川) 三八八
松田夫人欲送会 菅野 弘章 三九二
地酒を味わい三水会に語る 菅野 弘章 三九二
ご一緒しませんかスイス・アルプス山麓の旅

八子ヶ峰と竹寺 三水区・二つの現地集會 三九三
海の男山で鍛える―梓会五十二年度報告― 関塚 貞亨 三九四
『スイス・アルプス風土記』の出版記念会三九五
三田幸夫氏「守れ権現」を歌う 茶谷 東海 三九四
第28回三水区便り 三九五
三水区現地集會報告 只見散策 三九五
日本山岳画協会展開催(お知らせ) 菅野 弘章 三九六
第三回三水区便り 錦織 保清 三九八
有志懇談会 成瀬 岩雄 三九九
第7回ネパール研究学会(お知らせ) 三九九
三水区(有志懇親)便り① 三九九

三水会便り②穂高とのつきあい 岩堀 瑞子 四〇〇
講師折井健 沼倉寛二郎 四〇〇
支部情報
「語らう会」開催報告 熊本支部 三五二
東海支部報告 浅見 正夫 三五二
全国支部長懇談会兼現地小集會
焼肉と岩登りの集い 信濃支部 三五二
第十二回金山平、木暮理太郎翁碑前こん親會 山本朋三郎 三五五
高頭仁兵衛祭 鈴木 敏雄 三五二
東海支部集會日のお知らせ 山本朋三郎 三五五
第十七回もみじ会報告 熊本支部 三五五
紅葉の雲仙で秋季例会 熊本支部 三五五
支部長會議報告 三五六
第五回現地支部長會議開る 浦生 明登 三五六
海外遠征に思い馳せおでん料理で交歓

北海道支部小集會 三五七
二軒小舎に集う紅葉会 沼倉寛二郎 三五七
第十七回もみじ会、参加の記 川北 仁 三五八
東海支部通常總會のお知らせ 三五八
木暮祭のお知らせ 三五八
ウエストン祭のお知らせ 三五九
関西支部創立四十周年記念懇親會 三五九
『東海山岳』第三号刊行のご案内 三六一
第十八回紅葉会(お知らせ) 三六一
船形山 創立七十周年記念宮城支部行事 (望月) 三六一
第十六回木暮祭のお知らせ 三六三
木暮理太郎先生をしのぶ会 三六三
大暮先生の碑前に 山村 正光 三六四
昭和五十年年度山梨支部總會報告 山崎金次郎 三六四
創立七十周年記念北海道集會報告 三六五
『東海山岳第三号』頒布変更 三六五
第十八回紅葉会報告 (山本) 三六七
創立七十周年記念福岡、東九州、熊本三支部合同集會報告 (西沢) 三六七
創立七十周年記念登山(三支部合同) 三六七
久住山の記 (西沢) 三六七
浦蓋山の記 (奥野) 三六七
北海道支部新年小集會 高沢 光雄 三六八
東海支部、講演とうたと映画の集い(お知らせ) 三六九
木暮理太郎翁碑前懇親會(お知らせ) 三六九
支部創立三十周年記念行事 越後支部 三六九
ウエストン祭案内 三七〇
木暮翁碑前懇親會案内 三七〇
羽黒の雪に集う 山形支部結成二十五周年 渡辺公平 三七一
ウエストン祭案内 三七一
第十九回紅葉会(案内) 三七二
東海支部一九七六年總會報告 三七三

伊藤 行人 三七四
第十四回木暮翁碑前懇親會報告 山村 正光 三七四
越後支部三十周年 苗場山記念山行 鈴木 敏雄 三七五
東海支部講演會「ヒマラヤ登山隊三つの記録」ご案内 三七六
藤島玄氏叙勲祝賀會 鈴木 敏雄 三七九
『東海山岳第四号』発刊 三八〇
第十九回紅葉会 (久保田) 三八〇
ウエストン祭のお知らせ 三八三
木暮理太郎翁生没年の訂正―第十五回木暮理太郎翁碑前懇親會報告― 山村 正光 三八五
第三十一回ウエストン祭 快晴の上高地の一日 池田智津子 三八六
支部だより 北海道支部 総会 第一回支部委員会 新妻 徹 三八六
第20回もみじ会(お知らせ) 三八六
熊本支部二十周年記念山行(お知らせ) 三八七
支部だより―関西支部 磯部 幸則 三八九
西堀会長を囲んで昼食会・時を忘れた忘年会 北海道支部 三九二
創立三十年記念行事 信濃支部 三九二
濱野 正男 三九二
創立二十周年記念行事 熊本支部 三九二
初夏のベテガリ岳へいらっしやいませんか 北海道支部十周年記念山行案内 (山本) 三九二
第20回紅葉会報告 (山本) 三九二
関西支部活動報告(昭和52年9月・12月)三九三
第十六回木暮理太郎翁碑前懇親會へのお誘い 山村 正光 三九四
東海支部通常總會(お知らせ) 三九四
ウエストン祭のお知らせ 三九五
東海支部總會に出席して 折井 健一 三九六
忘れ得ぬ人との出合い―木暮祭に初参加して― 関塚 貞亨 三九七
福島支部創立三十周年記念現地小集會開催について 三九七
熊本支部春季支部長會議報告 三九八
北海道支部十周年記念の集い 水野 公男 三九八
第21回紅葉会御案内 三九八
北海道支部十周年記念山行ベテガリ岳報告 三九八

平野 明 三九八
福島支部創立三十周年記念集會(お知らせ) 三九八
第21回紅葉会御案内 三九九

人事往来
一般記事
消息(事務局員歓迎会) 三五二
昭和四十九年度新名譽會員紹介 中原繁之助氏 三五五
昭和四十九年度年次晚餐會出席者名簿 (津田・望月) 三五五
昭和四十九年度年次晚餐會出席者名簿 事務局 三五六
女子事務員募集 岩佐 義宗 三五八
ご挨拶 三五九
第11回秩父宮記念學術授賞式 三五九
三田幸夫氏紫綬褒賞授賞記念パーティ 三五九
昭和五十年年度會員總會出席者 三六〇
昭和五十年年度役員及び評議員 三六〇
昭和五十年年度除籍者 三六〇
北海道支部役員異動 三六一
昭和五十年永年會員、物故者名簿 三六七
昭和五十年年次總會出席者名簿 三六七
昭和五十年年度除籍者氏名 三七二
本年度東海支部役員 三七二
各支部の自然保護委員 三七六、三七七
スイス山岳会長オートトーマー氏と思わぬ会見 三七八
昭和五十年の年次晚餐會以後の物故者 三七九
昭和五十一年度年次晚餐會欠席者の近況 三七九
昭和五十一年度年次晚餐會出席者名簿 三七九
昭和五十一年度新役員 三七九
昭和五十一年除籍者氏名 三八三
各委員メンバー(52・53年度) 三八四
消息―亀田与三氏、環境庁長官より表彰 三八七
新名譽會員紹介 今西錦司氏、吉沢一郎氏 三八八
望月 達夫 三九一
みなさんお元気ですか、近況をお知らせします。(五十一年度年次晚餐會欠席者) 三九二
昭和五十一年度年次晚餐會出席者名簿 三九三

平野 明 三九八
福島支部創立三十周年記念集會(お知らせ) 三九八
第21回紅葉会御案内 三九九

平野 明 三九八
福島支部創立三十周年記念集會(お知らせ) 三九八
第21回紅葉会御案内 三九九

平野 明 三九八
福島支部創立三十周年記念集會(お知らせ) 三九八
第21回紅葉会御案内 三九九



粟飯原さんへノルウェーの勲章
川喜田二郎氏に秩父宮記念学術賞
アマガニスタン出
昭和53年度通常総会出席者
支部長交代のお知らせ 岩手支部 佐藤敏彦
石川支部 増江俊三 福島支部 中島正夫
昭和五十三年除籍者
近藤信行著『小島鳥水』第五回大佛次郎賞受賞
四〇〇

訃報・追悼

神谷恭さんを偲ぶ
近藤 実氏
佐藤達夫氏を惜しむ
中原繁之助氏逝去
中原繁之助氏へ名誉会員章を手渡す
足立正夫と近藤実
井上綱さんの思い出
名誉会員中原繁之助氏を偲んで
名誉会員 三枝守博氏
元役員 中司文夫氏
元役員 村尾金一氏を悼む
山下一夫氏の三回忌を迎えて
小林義正氏をしのぶ
名誉会員 伊藤秀五郎氏
石田吟松さんのこと
山好きの者にとって惜しむべきお二人のご逝去
長谷川伝次郎氏 安齋徹氏
関田美智子さん
ケニス・メイスン教授
阿岸充穂氏
名誉会員 日高信六郎氏を悼む
日高さんのこと
日高さんの囲んで
アルバイクラブ百年祭と武田久吉博士の想

い出ー日高大使の追悼会にあたりー
西 春彦 三七五
岳友日高信六郎君を偲んで
大木 操 三七五
日高信六郎氏を追悼する会
織内 信彦 三七五
追悼 名誉会員 藤島敏男氏
望月 達夫 三七六
藤島敏男君の長逝を悼む
岩永 信男 三七六
藤島さんを偲んで
島田 巽 三七六
山とパイプの人ー藤島さんを追想してー
柿原 謙一 三七八
足立源一郎さんの思い出
月原 俊二 三七八
上条孫人君
望月 達夫 三七八
エリック・シフトンを悼んで
島田 巽 三八三
デュガール・ハストンを悼む
片山 金平 三八四
追悼 中原万次郎氏・沢田武志氏
藤島敏男さんを偲ぶ会
横山 厚夫 三八五
さようなら加納さん
富田 健一 三八七
名誉会員 加納一郎氏
望月 達夫 三八七
追悼 伊藤弥十郎氏 三好勝彦氏 川崎吉蔵氏
藤島敏男さんのこと
小野 幸 三八八
追悼 安川茂雄氏
木本 善重 三八九
永井清一前支部長を想う
日本山岳会を知り 野尻抱影氏
川崎 精雄 三九三
JACに伴走した星人ー野尻抱影氏の逝去に
寄せてー
宮下 啓三 三九三
中野征紀氏
望月 達夫 三九四
追悼 深田志げ子さん
山下 久男 三九五
三井松男さんの思い出ー七回忌に当りー
金山 淳二 四〇〇

海外登山情報

来春のネパール事情について
〇一般

上田富雄、鹿野勝彦 三五四
アルゼンチンに氷河研究所新設
朝井 一男 三五四
ラムジュン・ヒマール登山隊報告
日本ヒマラヤ山岳協会 三五五
インナーラインの制限緩和(松田) 三五五
最近のネパール情勢と登山規定の改定
松沢 憲夫 三六九
ネパール登山規則 三六九、三七〇、三七一
登山とオリンピックエベレストの予約席を
めぐってー
片山 金平 三七三
カナディアン・ロッキーとマウント・レニア
への登頂ツアー
黒川 恵 三七三
ジャヌー北壁登攀報告 小西 政継 住吉仙也
三七四
登山とオリンピック補遺 片山 金平 三七六
マナリー峰初登頂(一九七六年)
増田 圭次 三七八
マウント・アサバスカ
柴田 初子 三七八
アフリカひとり旅ーケニア、キリマンジャロ
の交通事情ー
梅野 淑子 三八五
中国登山界の沿革と現状(上)
片山 金平 三九〇
K2登山を終えて
広島 三朗 三九〇
インド隊カンチェンジュンガ登頂
梶 正彦 三九〇
中国登山界の沿革と現状(中)
片山 金平 三九一
一九七七年カラコルムの日本隊
広島 三朗 三九一
一九七八年度ベミール及びカフカス入山要領
海外連絡委員会 三九一
中国登山界の沿革と現状(下)
片山 金平 三九二
ヒマラヤン・クラブの集會
「中国登山研究」の再版について
住所変更のお知らせ 山岳会
プレ・モンスーンの成果ーヒマラヤン・クロ
ニクルー
片山 金平 三九七
ヒマラヤン・ジャーナル復刻
アメリカの山岳団体(その1)
鈴木 郭之 四〇〇

▼日本山岳会事務取扱時間
月、火、木、土曜 10時〜20時
水、金曜 13時〜20時
日曜・祭日は休み
▼図書室開設時間
日曜・祭日・月曜を除く毎日
13時〜20時

OJ・A・C・登山隊関係

エベレスト峰南西壁(南壁)登山計画
宮下 秀樹 三五二
ナンダ・デヴィ登山計画について
鹿野 勝彦 三五七
ナンダ・デヴィ遠征計画 鹿野 勝彦 三五八
ネパール・ヒマラヤの旅(第一回海外登山研
修会報告) 田村 宏明 三六一
ナンダ・デヴィ登山計画のその後
梶 正彦 三六一
第二回日印合同婦人ヒマラヤ登山計画につ
いて
須田 紀子 三六一
ナンダ・デヴィ登山計画 堀内 章雄 三六四
エベレスト南西壁登山計画の白紙還元につ
いて
宮下 秀樹 三六四
ナンダ・デヴィ縦走計画(付 フランス・イ
ンド隊の記録) 堀内章雄・梶正彦 三六六
日印合同女子ヒマラヤ計画のお知らせ
第二回日印合同女子登山隊について
ナンダ・デヴィ縦走計画 堀内 章雄 三六八
ナンダ・デヴィ縦走計画 堀内 章雄 三六八
ナンダ・デヴィ委員会 梶 正彦 三六九
出発に際して 渡辺 兵力 三七〇
第二回日印合同女子登山隊準備報告
カメット準備委員会 三七〇
カメット隊出発 カメット事務局 三七一
カメット便り 須田 紀子 三七一
ナンダ・デヴィ東・西峰間の初縦走成功
堀内 章雄 三七三
カメット便り (山口) 三七三
カメット便り 統報 三七三
成否を分けたジャンダルム(ナンダ・デヴィ

縦走報告

鹿野 勝彦 三七四
 お知らせナンド・デヴィ縦走報告会 三七四
 パミール登山報告 伊藤 行人 三七五
 パミールの山麓から(田村俊介宛) 原 真 三七五

学生部ガール・ヒマラヤ登山隊

加藤 秀之 三七五
 第二回日印女子ヒマラヤ登山隊報告 須田 紀子 三七六
 パミールの麓から(田村俊介宛) 原 真 三七六

ナンド・デヴィ縦走一九七六(仮報告書)のお知らせ

ドウナギリ・北稜からの登頂―学生部ガール・ヒマラヤ登山隊報告―牧野内昭武 三七九
 ナンド・デヴィ登山隊会計報告―ナンド・デヴィ委員会 堀内 章雄 三八五
 ガールワール通信 日本山岳会ガールワール登山隊長 原 真 三九一

図版・写真

高旗山(地図と写真)

市村 貞夫 三五二
 御沢よりの鳥海山(写) 山中 善哉 三五二
 カット 小野 幸 三五二

碑前懇親会(写)

山村 正光 三五二
 虹芝寮前にて(写) 池沼 慧 三五二
 カット(月山の薄雪草) 坂倉登喜子 三五二
 ビーク・レーニン(ルート図) 田村 俊介 三五二

霞沢岳記念図(新・旧)

近藤 信行 三五三
 霞沢岳の東面(写真) 近藤 信行 三五三
 大平巖関係写真二葉 久保田 全 三五三
 シベリヤの三角点写真二葉 古沢 肇 三五三

年次晩餐会写真二葉

飯盛山(写真と位置図) 市村 貞夫 三五五
 アルバム写真 片野 次雄 三五七
 一等三角点関係図3、表2 水野 公男 三五八
 旧上高地山荘写真二葉 三六二
 スケッチ 山里寿男 三六二、三六四、三六六、三六七、三六九、三九五

ウェストンの墓前で(写) 上条 輝夫 三六二

UIAAのマーク 三六二
 車窓から見える南アルプスのスケッチ七点 石間 信夫 三六三
 スケッチ 坂本直行・佐藤久一朗 三六三
 日本の山岳名著写真集二葉 坂本 直行 三六四
 スケッチ 木暮先生をしのぶ会風景写真 山本 稔 三六四
 一九七五年仏・印ナンド・デヴィ登山隊ルート図 小倉 厚 三六六
 年次晩餐会写真 小倉 厚 三六七
 モン・ブラン写真二葉 松村 高 三六七
 碑石(写真) 浜田 文二 三六七
 霞沢岳の東面写真二葉 節田 重節 三六九
 似顔絵 日本山岳会の先輩たち 宮下 啓三 三六九
 カット(エーデルワイス) 坂倉登喜子 三七〇
 ランタン・ヒマールのヤクの写真 坂倉登喜子 三七〇

松本慎太郎

三五五、三五八、三六五、三六六、三七八、三七八、三九二、三九三、三九四、三九五、三九六、三九七、三九八、三九九、四〇〇

谷アネ子

三七〇、三七六、三七八、三八六、三八八、三九〇、三九六

霞沢岳の東面写真二葉

節田 重節 三七二
 竹中幸右衛門氏(写真) 湯口 康雄 三七二
 三水会日高さんを囲んで(写) 中 稔 三七四
 木暮翁碑前懇親会写真 山本 稔 三七四
 武田博士関係写真二葉 西 春彦 三七五
 日高氏関係写真二葉 大木 操 三七五
 日高信六郎氏写真 川北 仁 三七五
 第三キャンブよりのカメット峰(写) 増田 圭次 三七七
 映画会写真 マナリー峰写真 増田 圭次 三七八
 足立源一郎画伯絵の写真 月原 俊二 三七八
 年次晩餐会写真二葉 小倉 厚 三九九
 ドゥナギリ峰写真 牧野内昭武 三九九
 御在所岳標水地点図 尾上 昇 三八〇
 上条孫人の写真 望月 達夫 三八一
 山岳絵画展出品作品写真 二十三点、二十四点 今井幹夫 三八二、三八三
 西堀新会長の写真 小倉 厚 三八三

茅ヶ岳追悼山行スケッチと写真

宮下 啓三 三八四
 木暮祭での寄せ書 山村 正光 三八五
 白川又川谷で視察する一行(写真) 三六六
 マッターホルン頂上部(カット) 宮下 啓三 三八六
 ありし日の加納一郎氏(写真) 富田 健一 三八七
 カット 山里 寿男 三八八
 野呂川林道終点関係写真二葉 山村 正光 三八九
 四峰登攀ルート略図 西堀栄三郎 三九〇
 史占春氏(写真) 新ルームの地図、写真、間取り図 三九一
 52年度年次晩餐会写真 小倉 厚 三九一
 写真講習会の批評会で優秀作品に選ばれた入沢郁夫氏の写真 三九一
 西堀会長の挨拶を受けるアリヤール外相(写真) 森川 洋佑 三九二
 山岳会本部の位置図 播隆上人筆繪ヶ岳絵図写真 大正二年八月六日前穂頂上(写真) 撮影・大木 操 三九四
 新ルーム披露パーティ(写真) 上飯屋正和 三九四
 屏風岩ルート図(三枚) 小倉 厚 三九六
 総会での西堀会長と折井副会長(写真) スケッチ/各務良幸氏と署名 宮下 啓三 三九七
 ネパール国王と王妃に説明する西堀会長と清野画伯 写真 折井 健一 三九七
 大正二年(一九一三年)の上高地写真二葉 三九八

その他・正誤表および訂正

「石井鶴三先生のこと」の訂正 小野 幸 三五七
 訂正 三五六号 六頁 三五七
 『山岳』第六十八年 訂正 三五七
 訂正 三五七号 八頁 三五八

訂正 三五八号 四頁 三六〇
 訂正 三五五号 三六七
 訂正 三七一号 十一頁、十二頁 三七二
 訂正 三七一号 二頁、七頁 三七三
 日高信六郎追悼会の日誌訂正(三七四号) 三七五
 訂正とお詫び (望月) 三八五
 お詫びと訂正 三八五号 三八六
 訂正(三八五号ルーム基金について) 三八六
 『山岳』第七十年号訂正(二九七ページ) 三八七
 訂正(三九四号)とお断り 三九五

編集者

三五一―三五八号 小倉 厚
 三五九―四〇〇号 大森 久雄

あとがき

三五一号から四〇〇号までの「山」の目録をおとげします。「山」の編集も大変ですが、五〇号ごとに出すこの目録を作る仕事もなまやさしいものではありません。今回は「山」の前編集者である小倉厚氏に作っていただき、厚く御礼申し上げます。

最後の校正をしながら「山」を一冊、一冊ひっくりかえして見ていくうちに、また時のたつのも忘れてしまいました。「山」はまことに不思議な魅力を持っています。これが日本山岳会そのものの姿なのではないかとしみじみ思います。貴重な文献がここにまた一つ生れたことを心から喜んでおります。(山崎安治)

昭和五十三年十一月二十日発行

102 東京都千代田区四番町五一―四
 サンビニウハイツ四番町

発行所 社団法人 日本山岳会
 発行人 西堀 栄三郎
 編集代表 大森 久雄

電話東京(03)四四三三
 振替口座東京三三九八二九番
 東京都港区赤坂一丁目三番六号
 印刷所 株式会社 技報堂

一、本會の目的は、
 二、本會の組織は、
 三、本會の業務は、
 四、本會の財政は、
 五、本會の附則は、

一、本會の目的は、
 二、本會の組織は、
 三、本會の業務は、
 四、本會の財政は、
 五、本會の附則は、

一、本會の目的は、
 二、本會の組織は、
 三、本會の業務は、
 四、本會の財政は、
 五、本會の附則は、

一、本會の目的は、
 二、本會の組織は、
 三、本會の業務は、
 四、本會の財政は、
 五、本會の附則は、